

学校だより

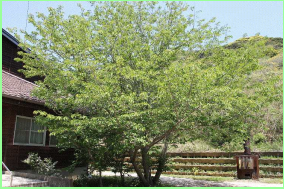
ひ め っ こ

令和2年 5月号 糸島市立姫島小学校

【児童数】

- 1年 2名
- 2年 2名
- 4年 2名
- 6年 2名
- 合計 8名

5月になりました・・・



校庭に咲く桜も葉桜になるなど植物は芽を出し新緑の美しさが目立ってきました。また、ツバメも多く飛び、季節は確実に夏へと進んでいます。

このように自然は移り変わっていますが、残念ながら、新型コロナウイルスの感染がまだ続いています。臨時休業も3月から続き、ゴールデンウィークを挟んで、5月8日(金)まで続いており、先の見通しが見えない

ことにとても歯がゆく思っているところです。

現在、各ご家庭では、学校からの課題をもとにできるところから取り組んでいただいています。しかし、臨時休業が長期化することでいろいろ大変な思いをされていると思います。そんな状況でも子どもたちへの声かけなど日々対応されていることに感謝申し上げます。

学校としても、再開に向けての準備をしていますが、次々に状況が変わりその都度計画を変更している状態です。そうしたなかでも、全職員が教育活動が再開されることを心待ちにしているところです。

今こそ「生きる力」を育てていく。

学習指導要領改訂の方向性

新しい時代に必要となる資質・能力の育成と、学習評価の充実

学びを人生や社会に生かそうとする
学びに向かう力・人間性等の涵養

生きて働く知識・技能の習得

未知の状況にも対応できる
思考力・判断力・表現力等の育成

何ができるようになるか

本年度から教科書の内容が新しくなっています。新学習指導要領の内容が実施されているからです。

残念ながら、新しい教科書を使って学習はまだスタートしていませんが、教育の方向性としては、左の図にあるように、まさに現在のように先の見通しがたないときでも未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力」・「生きて働く知識・技能の習得」・「学びに向かう力」を育成することです。このような「生きる力」を培う

ために学校での様々な教育活動を行っていくのです。早く再開できることを願っていますが、お家でも学校から出ている課題に取り組むことや現在の社会の状況を報道等で知ったことを「自分はこう思う」など親子で会話することもこの力を育むことになると思います。ついマイナス思考になりがちですが、どのような状況におかれても、プラスに考えて前向きに生きていくことが大切ではないかと思います。

新型コロナウイルスの感染の報道から考えること・・・

新型コロナウイルスの感染拡大に対して世界中で多くの方が苦しんでいる状況です。そのようななか、インターネットでは、様々な情報が飛び交っています。様々な情報の中では正しい情報もあります。本当に正しいかどうか、情報を受け取る方が賢くなる必要があると思います。それには、ネットの特徴を知っておく必要があると思います。

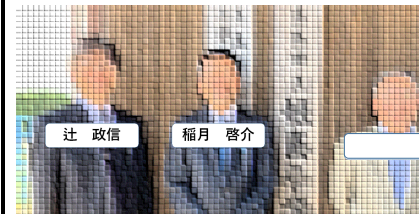
- ① 信憑性・根拠や正確さを示さずに情報を発信することができる。
→ 全ての情報が信用・信頼できるものとは限らない。
- ② 拡散性…複数の対象に向けて容易に情報を発信することができる。
→ 正しい情報でも世界中に広がる可能性がある。
- ③ 匿名性…発信元を意図的に隠して情報を発信することができる。
→ 情報を発信した人に責任を問うことが難しい。

報道では必死に感染拡大に立ち向かっている医療従事者の方やそのお子さんに対しての差別的な言動もあったようです。とても残念に思います。

生きる力のなかには、よりよく生きることも含まれていると思います。人の気持ちを考えて、正しい判断で行動できることが大切だと思います。前述の「生きる力」を育てていにも記述していますが、いかに今までの学習や経験を含めて、その経験等をもとにしながら、思考、判断して行動するかが試されていると思います。

【赴任者の紹介】

全島赴任式が中止になっていますので、赴任者の紹介をします。



校長 稲月啓介(いなづきけいすけ)

先が見えない状態ですが、保護者の方や地域の方としっかりと相談しながら進めていきたいと思っています。よろしくお願いいたします。

教頭 辻 政信 (つじ まさのぶ)

14年ぶりに姫島小にお世話になります。当時担任していた子どもたちも立派な青年になっていて時の流れを感じています。よろしくお願いいたします。

事務

15年ぶりに姫島小に帰ってきました。仕事の内容は随分と変わっていますが、これからも以前と変わらず、よろしくお願いいたします。